

議案第三三號

授業料徴収の件

熊川村立尋常高等小學校高等科児童より一人當り左記金額ノ授業料ヲ徴収スルモノトス

記

児童一人當年額金參圓參拾錢

但シ八月以降ノ月額金參拾錢トシ各月二十日限り徴收ス

昭和十五年二月二十九日提出 即日原案可決

西多摩郡福生村熊川村組合長 高崎 彌一

理由

教育費ノ増加ニ伴ヒ之ガ財源ニ資セントスルノ已ム得ザルニ
出タル所以ナリ

第二四號

道路占用許可付諮問ノ件

福生村所在多摩燃料株式會社ヨリ別紙ノ通村道占用許可
願出ニ付占用料年額金參圓錢ヲ徴收シ別紙條件ヲ
附シ占用ヲ許可セントス

右諮問ス

昭和十五年二月二十九日提出即日認定

西多摩郡福生村熊川村組合長高崎彌一

西多摩郡神奈川村組合役場

昭和十五年二月二十六日 駐出 明日 晴 風

古語問

抑ミ古用フ指下サニイ

願出ニ付古用林半賤金参圓 金ニ付外ニ降給新林
林主林主多摩郡神奈川村組合役場ニ付給、前林前古用指下
前給古用指下ニ付古語問、料

第二回 報

村道使用條件

第一條 村道ヲ使用スル箇所ハ別紙圖面ノ通りトス

第二條 敷設工事ノ設計ハ願書記載ノ通りトシ盛土ノ分配ハ三
十分ノ一トス

第三條 使用ノ目的ハ願書ニ記載スル外使用ヲ禁止ス

第四條 使用期間ハ昭和十五年一月ヨリ昭和二十四年十二月迄拾ケ年間

第五條 工事落成ノ上ハ當組合役場ニ届出検査ヲ受クベシ

第六條 使用地ニ要スル修理保存ノ費用ハ総テ使用人ノ負担トス

第七條 使用期間中ト虽公益上障害アリト認めル時ハ何時ニテ

モ無償ニテ返地セシムコトアルベシ

第八條 使用ノ爲メ一般交通ニ不便ヲ與ヘ他ニ損害ヲ加ヘ又ハ之

害ヲ及ホス事アリシ時ハ自費ヲ以テ之ヲ除去又ハ予防セシム

若シ怠リテ之ヲナサバ爾時ハ當組合役場ニテ之ヲナシ其費用

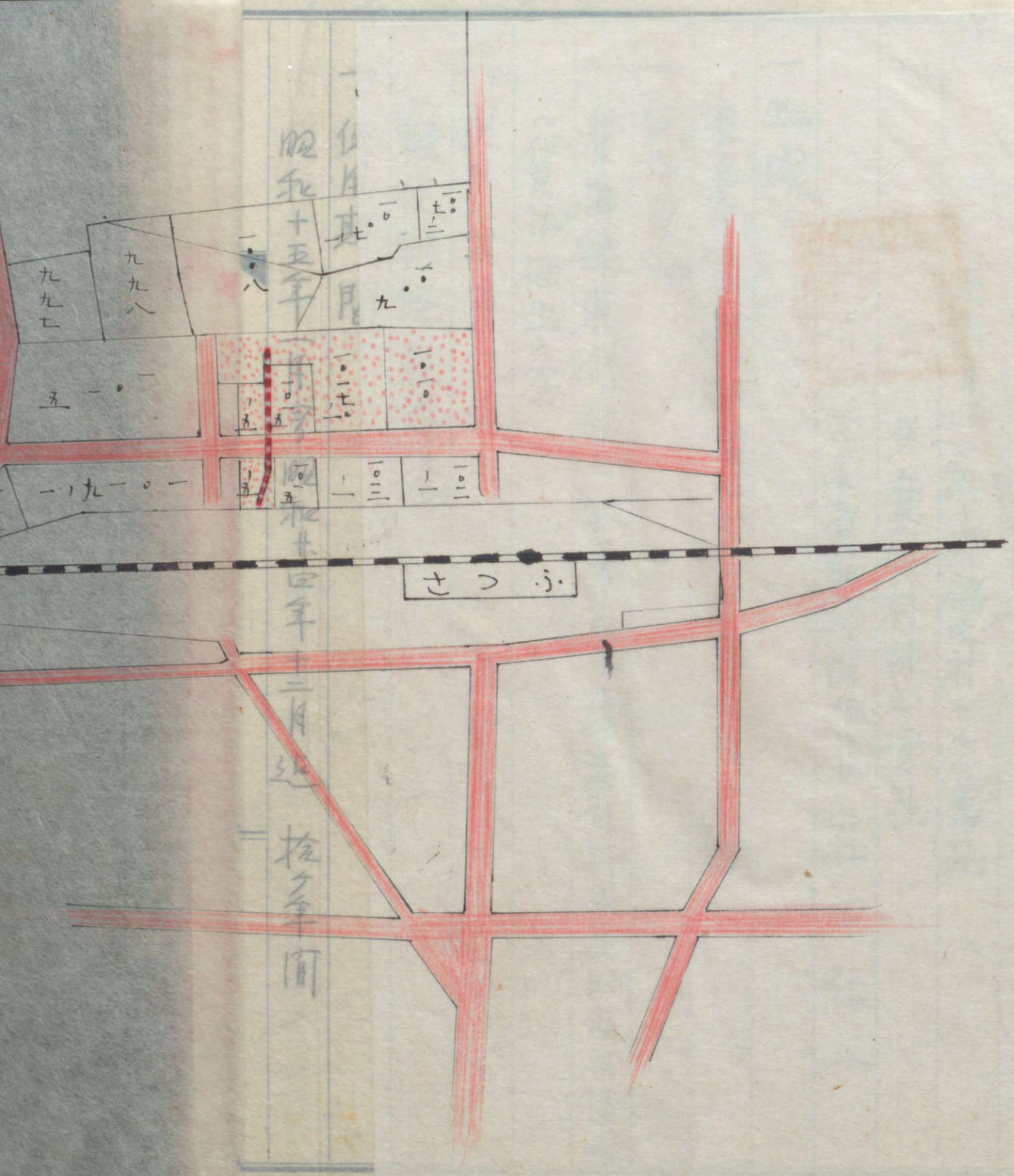
ヲ徴収ス

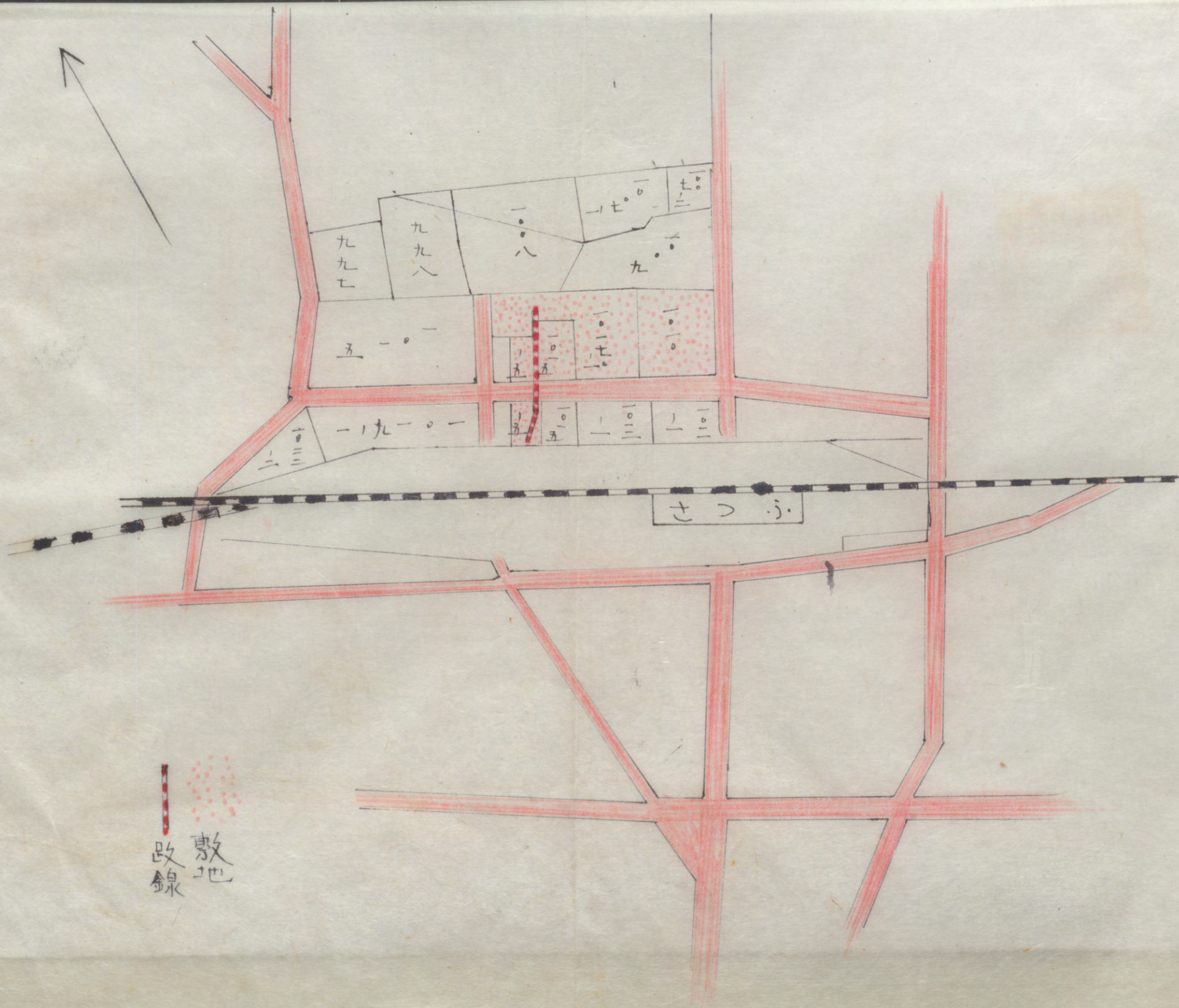
第九條使用期間満了又ハ使用人ノ都合ニ依リ返地スル時若クハ前
ニ條ニ依リ返地スル場合ニ於テ其ノ使用ミタル物件ハ直ニ自
費ヲ以テ取拂ヒ返地スベシ若シ怠リテ之ヲサバハル時ハ當
組合役場ニ於テ之ヲナシ其費用ヲ徴収ス

場ノ許可ヲ要ス

第十條使用期間中 使用権ヲ他人ニ譲渡サントスル時ハ當組合役
場ノ許可ヲ要ス

(青板間板圖納)





徴収ス

第九條使用期間満了又ハ使用人ノ都合ニ依リ返地スル時若クハ前

ニ依リ返地スル場合ニ於テ其ノ使用ミタル物件ハ直ニ自

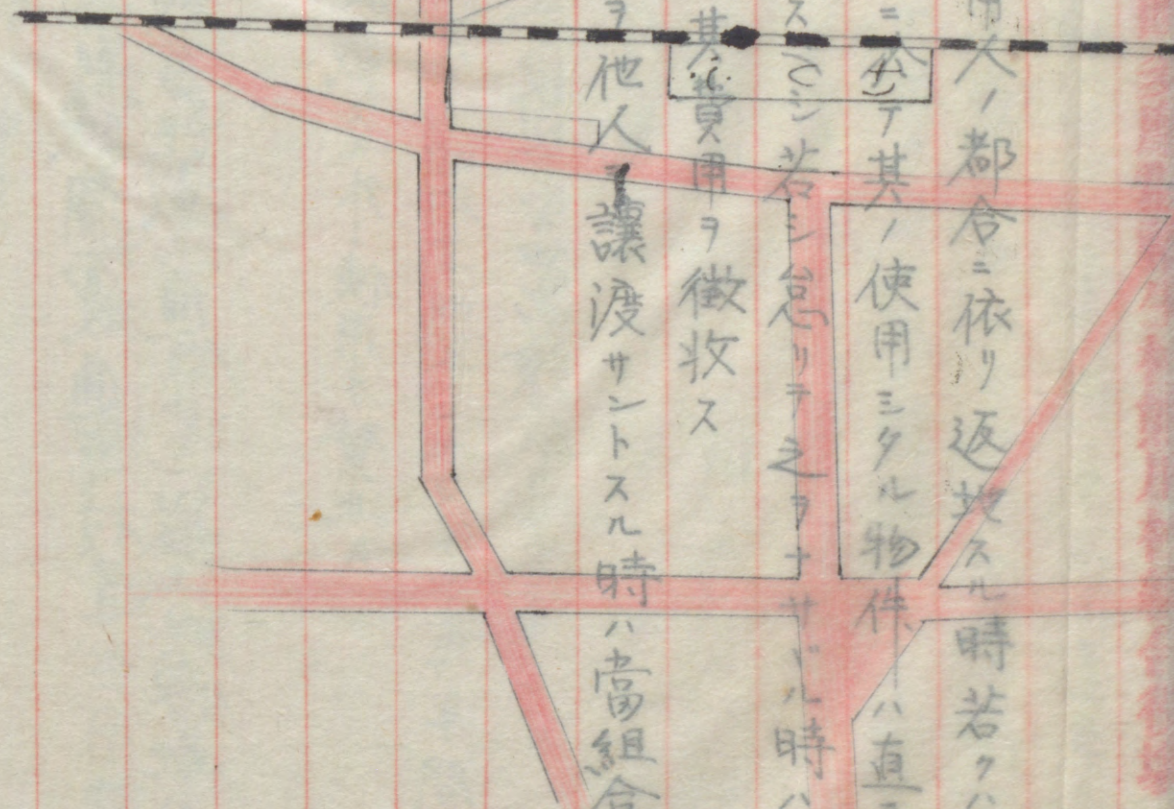
費ヲ以テ取拂ヒ返地スルコト若シ怠リテ之ヲササル時ハ當

組合役場ニ於テ之ヲナシ其ノ費用ヲ徴収ス

第十條使用期間中使用权ヲ他人ニ譲渡サントスル時ハ當組合役

場ノ許可ヲ要ス

右條項ハ堅ク遵守スルコトヲ要ス



(青森県農業試験場)

村道使用許可證

東三村西多摩郡福生村七七六番地

多摩燃料株式会社

代表取締役社長 市村 田 弘 八



一区域

東三村西多摩郡福生村七七六番地先一ヶ所

一使用目的

青梅線東側福生駅より練炭原料石炭引取及積み込
へ貨物搬出を為

一使用ノ方法

軽便軌條敷設を為

一使用期間

昭和十五年一月より昭和廿四年十二月迄 拾年間



右之通使用致度候之付之何卒特別御詮議之御許可
以被下度此段及御願候也

昭和十五年一月九日

右

市村田彌八



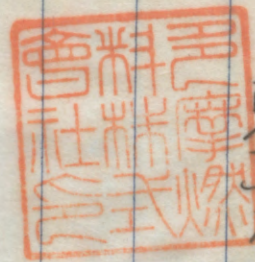
福生熊川但合村長吉崎弥一殿

村道使用許可願

東京府西多摩郡福生村七十六番地

多摩燃料株式会社

代表取締役社長 市村田弥八



一 区域

東京府西多摩郡福生村七十六番地先一ヶ所

一 使用目的

青梅線東側福生駅より練炭原料石灰引取及構内
へ貨物搬出を為

一 使用の方法

軽便軌條敷設を為

一 使用期間

昭和十五年一月より昭和十六年十二月迄 拾年間



右之通便用致度候之付、何卒特別御詮議、之御許可
以、收下度此段及御願候也

昭和十五年一月九日

右

森田彌八



福生能川但金井長育崎強一殿

多摩燃料株式會社定款

第 壹 章 總 則

第 壹 條 本會社ハ多摩燃料株式會社ト稱ス

第 貳 條 本會社ハ本店ヲ東京府西多摩郡福生村七七六番地ニ置

キ尙業務發展ノ都合ニ依リ適地ニ支店及出張所ヲ設ク
ルコトアルヘシ

第 參 條 本會社ハ左ノ業務ヲ營ムヲ以テ目的トス

燃料製造販賣並ニ之等ニ附帶スル事業

第 四 條 本會社ノ資本金ハ五萬圓トス

第 五 條 本會社ノ存立期間ハ會社成立ノ日より滿貳拾ケ年トシ

株主總會ノ決議ニ依リ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第 六 條 本會社ノ公告ハ東京市ニ於テ發行スル中外商業新報ヲ

以テス

第 貳 章 株 式

第 七 條

本會社ノ株式ハ壹千株トシ壹株ノ金額ヲ金五拾圓トス
本會社ノ株券ハ記名式トシ拾株券ノ壹種トス

第 八 條

株金ノ拂込ハ第壹回ニ於テ壹株金貳拾五圓トシ第貳回
以後ノ拂込ハ業務ノ必要ニ應シ株主總會ノ決議ヲ以テ
之ヲ定ム

第 九 條

株主ガ株券ノ提示ヲ爲サスシテ所有株式中一部ノ拂込
ヲ爲サムトスルトキハ其配込ムヘキ株式ヲ指定スルコ
トヲ要ス其指定ヲ爲サ、ルトキハ本會社ニ於テ適宜其
拂込金ヲ充當スヘキ株式ヲ指定ス 株主カ拂込金ヲ怠
リタルトキハ其拂込期日ノ翌日ヨリ日歩四錢ノ割合ヲ
以テ延帶利子ヲ支拂フコトヲ要ス
株式賣買又ハ讓渡ニヨリ名義ノ書換ヲ請求スルモノハ

第 拾 條

第 拾 壹 條

第 拾 貳 條

第 拾 參 條

第 拾 四 條

本會社所定ノ書類ヲ添附シ當事者双方連署ヲ以テ株券
ヲ添ヘ名義ノ書換ヲ請求スヘシ
株主其氏名ニ異動アリタルトキ相續遺贈其他法律ノ作
用ニ依リ株式ヲ收得シタルトキハ本會社所定ノ請求書
ニ適法ノ證明書並ニ株券ヲ添ヘ提出スヘシ
株券ヲ毀損又ハ紛失シタルトキハ其旨ヲ記載シタル所
定ノ書類ヲ提出シ新株券ノ交附ヲ求ムヘシ
此場合本會社ハ相當ノ調査ヲナシ其旨ヲ公告シ六拾日
ヲ經テ故障ナキトキハ新株券ヲ交附ス但公告料其他ノ
費用ハ請求者ノ負擔トス
第拾條乃至第拾貳條ノ株式書換ハ毎計算期最終ノ翌日
ヨリ定時總會終了迄之ヲ停止スルモノトス
株主又ハ其法定代理人ハ其住所氏名及印鑑ヲ本會社ニ